

【事業計画】

平成 25 年度・26 年度 事業計画

〔総括〕

新体制での学友会が 2 年を経た。85 周年記念祝賀会で出席した短大卒業生の多さに目を見張った。これまでは学友会活動に短大卒業生の参加が少なく、学友会の危機と言われたこともあったが、これを見て安心した。支部役員にも短大卒業生が多く現れてきた、今後の活躍に期待したい。

更なる事業の展開及び会員相互の親睦、組織結束力の強化により本学友会を益々発展させたい。また、母校の発展のため側面から支援したい。以下、常置委員会が行う事業について報告する。

(1) 支部活動の支援と連携について

例年通り、会員相互の親睦・親交を積極的にはかって頂くため、定期的な支部総会の開催を要請すると共に、出席要請のあった支部には会長及び本部役員が出席するよう努めたい。

(2) 学友会設立 85 周年記念

学友会設立 85 周年を記念して学友会バッジを作成し会員に配布したい。これには創生基金を充てる。

〔委員会計画〕

(1) 庶務委員会

理事会・委員会等会議の開催、学友だよりの発送、ホームページの定期的な更新および内容の充実を図り会員相互の連携を強化する。なお、学友だよりの発送については、三つ折りせずに A4 版での送付、および発送作業の効率化を図りたい。

名簿委員会と連携して会員情報の管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行う。また、支部総会および同窓会開催時には、要望に〔委員会報告〕応じて会員宛名シールの提供を行い支部・同窓会活動を積極的に支援する。

(2) 編集委員会

「学友だより」を例年通り年 4 回発行し、会員との情報の連携をより一層深めたい。内容に関しても例年通りとしたい。なお、各号の頁数は 10 頁前後を目途としたい。

A4判のままでの送付や、送付方法についての検討を始める。

(3) 企画委員会

① 就職問題に関する懇談会の開催

夏休み前に本校集中講義室に於いて最終学年の学生を対象に懇談会を開催し、夏休みを就職活動に有効に利用してもらえるように努める。

② 学園祭における「学友会何でも相談コーナー」の開設

学園祭(大瑠璃祭)開催日に「学友会何でも相談コーナー」を設け在学生の各種相談に応じると共に、学友会員との親睦を図る。在学生等が気軽に訪れてもらえるように、出店等の企画を準備する。

③ オープンキャンパスにおける学生・保護者に対する「相談コーナー」の開設

オープンキャンパスのために来校した学生・保護者に対して診療放射線技師の仕事内容や大学での生活などに対する相談ができる場所を準備する。また、学友会組織を説明する展示を行う。

(4) 名簿委員会

平成 25 年度は名簿の発行を行わないために、新会員の住所登録や住所変更等に対応する。平成 26 年度には『会員名簿 2014 年版』の発行を行う。

(5) 表彰委員会

2015 年度学友会総会においての、名誉会員の推戴、表彰規定にもとづく表彰者、並びに感謝状贈呈者の選考を行う。

(6) 財務委員会

【一般会計】

収入は平成 23～24 年度予算を踏襲し、終身会費からの補助金を増額して、総額 10,386,686 円を計上した。

支出は通信費を大幅に増額し、「学友だより」を折らずに封入することで発送作業の効率化を図る。

その結果、事業費及び通信費の合計額は全予算の 74%となる。

【終身会費】

平成 23～24 年度予算を踏襲し、終身会費積立額は 26 年度末には 40,000,000 円となる予定である。

【21 世紀創生基金】 寄附の受付を積極的に行い、基金として適切に管理を行う。

(7) 次期総会開催地(平成 27 年)

開催地：本部開催

開催時期：平成 27 年 5 月(予定)

(8) 新役員

会則および役員選出規定に基づき、平成 25～26 年度の会長および監事候補者 3 名は、平成 25 年 5 月 25 日、学友会総会において承認されました。

選挙管理委員会 平川 益三、小田 紘弘、八木 勝己

	役員名	会員番号	所属支部
会長	神澤 良明	43-019	兵庫
監事	田中 庸二	44-030	京都
	田中 龍蔵	48-017	京都
次期選挙管理委員	平川 益三(54 回生) 八木 勝己(55 回生) 堀井 均(55 回生)		

以上

* 通巻 208 号 2013 年 7 月 10 日発行(H25-No.2)より